

自動運転向け映像コンテンツサービス

走行データと開発支援環境の提供により
自動運転システムの開発を支援します

走行データ収集

市街地・繁華街・高速道路・
テストコースなどを走行

データ収集車両



走行データベースビューワ



タグ付けイメージ



走行データ

映像コンテンツサービス

開発支援環境

歩行者

周辺車両

道路環境

交通ルール

天 候

時間帯

ヒヤリハット

記録システム

データ確認ツール

タグ付け支援

仮想環境評価ツール

自動運転システム
AI開発

提供・支援

走行環境認識

自己位置推定

予測・判断

自動運転向け映像コンテンツサービスとは

自動走行の実現には走行中の自動車の周辺環境を正確に認識することが重要です。

また、自動車周辺にある歩行者や障害物を正確に認識する上で、走行データベースに蓄えられた大量のデータを活用した、認識辞書の作成や評価手段の提供が期待されています。

自動運転向け映像コンテンツサービスでは、車載カメラによる認識システムの開発を行う研究者、技術者のために、走行データベースに蓄えられたデータを、性能評価用データとして有効に活用して頂くための開発支援環境やツール、サービスの充実を目指します。

自動車周辺環境認識技術のための 開発支援サービス

下記のツール開発や環境構築のお手伝いを致します。

メインサービス

1. データ収集および、収集車両製作、貸出



- 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の自動走行システムで構築した収集車両および収集システムを利用して、データ収集サービスを行います。
- 現在SIP標準以外のセンサを取り扱えるシステム拡充を検討しています。

高分解能、高ダイナミックレンジ、高フレームレート、マルチカメラ360°全方位映像のデータを収集します。
同時計測データとして LiDAR測距情報、CAN、GPS、シーン情報などを計測できます。

次期サービス

2. データ収集・加工サービス【次期サービス(予定)】

走行計画・走行データ収集、データ整理、データベース化・管理、タグ付け・検品などの対応を行います。



- 国内外地域の走行を計画し、データ収集を行います。
- 収集後のデータを整理してデータ管理を行います。



- 矩形タグ付け、セマンティックセグメンテーションラベリングを行います。

3. データ利活用サービス【次期サービス(予定)】

データ検索・サーバ環境の提供サービスを行います。



- 管理データから検索を行い、必要データを抽出します。
- クラウドサーバとしてのサービスを提供します。

4. 開発支援ツール【次期サービス(予定)】

シーン抽出、走行データベースビューワ、画像変換、データベース・アノテーションツール、仮想環境評価ツールなどの開発支援ツールを提供します。

走行データベースビューワ



仮想環境評価ツール(センサ評価、シナリオ評価)



画像提供元(エムエスシーンソフトウェア株式会社)

HAGIWARAロゴは萩原電気ホールディングス株式会社の登録商標です。また、記載された商品名および会社名等は各社の商標または登録商標です。
ECS201809KS05 2018年9月現在

Copyright(C) HAGIWARA ELECTRONICS CO., LTD. All Rights Reserved.

